

令和3年度
北しりべし廃棄物処理広域連合温暖化対策推進実行計画
推進状況

1. 実行計画の削減目標

2013（平成25）年度を基準年度として、計画期間の最終年度である2030（令和12）年度の二酸化炭素排出量を14%削減する。

（計画期間：2018（平成30）～2030（令和12）年度）

2. 令和3年度 温室効果ガス排出量実績

表1. 温室効果ガス排出状況

温室効果ガス	調査項目	平成25年度 (トン-CO ₂)	令和3年度 (トン-CO ₂)	増減量 (トン-CO ₂)	増減率 (%)	
二酸化炭素	廃棄物焼却	19,997	16,474	▲ 3,523	▲ 17.6	
	燃料消費	灯油	1,053	189	▲ 863	▲ 82.0
		ガソリン	3.4	2.0	▲ 1.4	▲ 40.9
		軽油	40	36	▲ 5	▲ 12.0
	購入電力	389	361	▲ 28	▲ 7.2	
	売却電力	▲ 2,170	▲ 1,636	534	24.6	
	小計	19,312	15,425	▲ 3,887	▲ 20.1	
メタン	廃棄物焼却	1.0	0.8	▲ 0.2	▲ 17.6	
	自動車使用	0.0076	0.0067	▲ 0.0008	▲ 11.1	
	小計	1.0	0.8	▲ 0.2	▲ 17.6	
一酸化二窒素	廃棄物焼却	725	597	▲ 128	▲ 17.6	
	自動車使用	0.18	0.12	▲ 0.05	▲ 30.0	
	小計	725	598	▲ 128	▲ 17.6	
ハイドロフルオロカーボン	カーエアコン	0.086	0.086	0	0.0	
	小計	0.086	0.086	0	0.0	
温室効果ガス排出量合計		20,039	16,024	▲ 4,015	▲ 20.0	

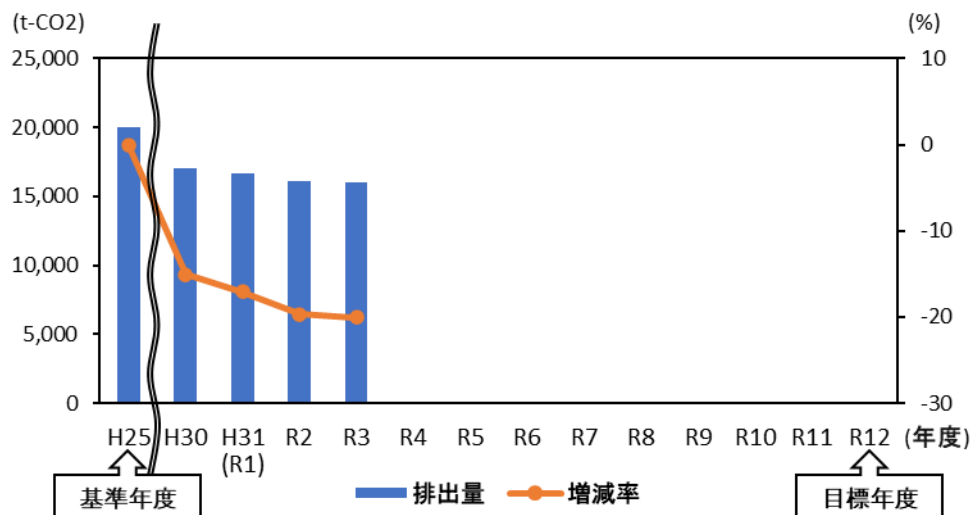


図 1. 温室効果ガス総排出量の推移

3. 結果の評価

令和3年度における温室効果ガス総排出量は16,024トンで、基準年度の平成25年度と比較すると4,015トン減少し、増減率は20.0%減であった。

調査項目別では、電力の売却に伴う二酸化炭素排出量は増加しているが、その他の項目では減少した。(表1)

温室効果ガス総排出量については、目標年度に向けて順調に減少している。(図1)